

笠間市地域おこし協力隊 活動報告

No. 38

プロフィール はしもと かずよし 橋本 和善 (47歳) 千葉県より移住

地域の皆さんと共に、活動展開中です！

笠間に来て早半年。さまざまな行事に参加しながら、貴重な体験をさせていただいています。

歴史的な逸話も多い朝房山では、地元区長と共に、往時のにぎわいを取り戻すプロジェクトを計画中です。朝房山は池野辺の倉作地区からだとアクセスが大変良く、片道約30分で登ることができる手軽なハイキングコースです。また飯田ダムでは、全国各地で展開している「ダムカレー」を実現すべく、関係者の皆さんと模索中です。

地域福祉においては、笠間地区と友部地区で8月から始まったオレンジカフェ（認知症カフェ）を多くの方に知ってもらうため、主催者の皆さんと共に活動を進めています。

スポーツの秋は関連行事も多く、各種ウォーキングイベントへ参加する予定ですが、協力隊活動を通じ、健康都市かさまの実現を、さらに推し進めていきたいと思っています。



朝房山に関する打ち合わせ



ダムカレー試作品（ライスをダム、カレーを湖に見立て、福神漬で放流を表現）

地域おこし協力隊とは



地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

ブログやフェイスブックも ブログ▶<http://ameblo.jp/kasamart-wa/>
ご覧ください facebook▶<https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問合せ】まちづくり推進課（内線538）

ジャパンテック株式会社東日本PETボトルMRセンター

笠間市長兎路1001番地（茨城中央工業団地笠間地区）

・今後の目標は
これから覚えていかなければならない仕事がたくさんあるので、一つ一つの仕事を自分でしっかりと理解し、同じミスを二度も繰り返さないようにがんばりたいです。

・やりがいを感じるときは
工場見学などでいらつしゃったお客様に、「ありがとう」と言っていただけなのにやりがいを感じます。その一言で、次回お越しいただくときは、今回よりも更にお客様が気持ちよく工場見学ができるようにがんばろうと思います。

・どのような仕事を担当していますか
毎日、家庭から大量に出る使用済みペットボトルを再生原料に生まれ変わらせる会社で働いています。
その中で私は、ペットボトルの搬入やフレックの出荷が円滑に行えるように、事務処理の仕事を担当しています。

今回紹介するのは、長兎路にあるジャパンテック株式会社東日本PETボトルMRセンターで働く、寺門美樹さんです。〔笠間市在住・入社1年目〕

キラリ！

社会人

がんばる企業
応援連絡会

このコーナーは、市内の企業で働くフレッシュな社会人を紹介します。

・職場の自慢

今年の7月に稼働したばかりで、若い社員が多く、やる気みなぎっている職場です。



勤務の様子



寺門さん